

事業所名 グループホームほっと

運 営 推 進 会 議 開 催 報 告 書

開催日時 平成 30年 9月 28 日(金) 14時 ～15時		
参 加 者		議 題
利用者家族	2名	1) 活動報告 2) 外部評価目標達成計画 3) 身体拘束の適正化についての委員会 4) 質疑応答
地域住民の代表者	1名	
市職員	1名	
地域包括支援センター職員	1名	
事業所	4名	
その他(利用者)	5名	
会 議 録		
・ホームで毎日行っている「元気のでる体操」に全員で参加して頂き、見て頂く		
1) 新しい利用者様の紹介		
Y様	女性	83歳 要介護4
2) 8月の活動報告		
8/5	J様(男)と家族で野球観戦に行く 聚楽の夏祭りに参加する	
8/25	Y様(女)89歳の誕生日会	
その他	散歩、ドライブ、買い物、季節の作品作り、夏野菜の収穫など	
・9月の活動報告		
9/7	防災訓練(新人研修を兼ねる)地震を想定して行う	
9/8, 9	瀬戸物祭り(イベントに参加しお祭り気分を味わう) 夜間は家族を交え花火を鑑賞する	
9/17	敬老会と米寿のお祝い 利用者のギター演奏と職員のマツケンサンバの踊り	
その他	おはぎ作り 作品作り	

3) 外部評価結果に対しての目標達成計画について

1、利用者の健康面での管理を主治医、訪問看護師、訪問薬剤師と連携し安心できる体制を整える

- ・訪問看護師とは訪問時に利用者の相談や巻き爪の処置をしてもらった
- ・職員は毎日、服薬チェック表を忘れずに記入し確認している
- ・全職員は利用者の薬の内容を把握する（追加や変更時は利用者連絡ノートに記入し職員は出勤時に目を通しサインする

2、職員の介護技術及び知識の向上に努める

- ・毎月テーマに沿って社内研修を実施している
 - 8月・・・身体拘束マニュアルと昨年の資料に基づいて再確認する
 - 9月・・・介護保険の知識②
 - ・施設サービス・居宅サービス・地域密着サービスについて
 - グループホームの運営基準についてプリントを配布して学んだ

4) 身体拘束廃止に向けた体制作り

- ・身体拘束廃止委員会の設置

<身体拘束廃止委員会の構成員>

法人の代表者、管理者、職員、運営推進会議の出席者（地域住民、市職員、地域包括支援センター職員、家族など）

- ・身体拘束廃止委員会を運営推進会議を活用し定期的に開催する
- ・出席者の皆さんからご意見を伺い、その結果を職員に周知徹底を図る
- ・前回報告した利用者一名に対して、家族から口頭での同意は得ていたが文書での同意がないことと拘束に対しての記録がなかったことに対して市より身体拘束廃止未実施減算の指導を受けた。再度職員会議にてマニュアル等で学習した

5) 質疑応答と意見交換

- ・市職員・・・台風22号で瀬戸のグループホームでも停電があった
ほっとは太陽光発電だが蓄電されないので夜間は使用できないため対策が必要である。災害時は近隣にも声掛けが必要です

以上